

「相手を心から認める姿勢」

土光敏夫

会議や打合せで議論しているとき、われわれの頭や心はどのような動き方をしているのか。

大きく分けて、肯定的態度と否定的態度があると思う。

肯定的態度とは、相手の発言を相手の立場になって聴き、どこに賛成しようかと考える姿勢。

その底には、思いやりの気持ちが流れている。

否定的態度とは、相手の発言を相手の立場で受け止め、どこに反対しようかと考える姿勢。

その裏には、自己防衛や自己顕示といった気持ちが潜んでいる。

相手の提案に対しては、それを心から認めてあげることが惜しんではなるまい。

肯定的態度こそが、組織間の葛藤を乗り越える人間的な契機になることを知るのは、

とても重要だ。

「土光敏夫 信念の言葉」PHP研究所（抜粋）